

# 2024 年漁期底びき網漁業の操業状況

福島県水産資源研究所 資源増殖部

## 1 部門名

水産業—資源管理—底びき網

## 2 担当者名

伊藤貴之

## 3 要旨

福島県沿岸漁業は本格操業に向けた移行期間にあり、底びき網漁業においては計画的に生産の拡大が進められている。底びき網漁業の効率的な操業拡大を支援するため、操業日誌の分析を行った。曳網時間では、水深 100m、200m 付近及びいわき沖の浅海域の一部に長い海域がみられた (図 2、左)。曳網 1 時間当たりの漁獲量 (以下、CPUE) では、水深 200m 付近に高い海域がみられた (図 2、右)。いわき沖水深 200m 付近などの、曳網時間が短く CPUE が高い海域での操業を増やすことで、資源への負荷を軽減した生産拡大が図られると考えられた。

- (1) 2024 年漁期 (2024 年 9 月～2025 年 6 月) における、底びき網漁業操業日誌に記録されている投網・揚網時刻から曳網時間を算出した。操業位置を緯度経度 5 分毎に区分し、各区分内の総漁獲量を総曳網時間で除して CPUE (kg/時間) を算出した。
- (2) 2024 年漁期の総曳網時間は 22 千時間で、前漁期から 1.5 千時間増加した。震災前 3 年間 (2008～2010 年) の平均曳網時間は 115 千時間であり、2024 年漁期の曳網時間は、震災前の 19% であった。(図 1)

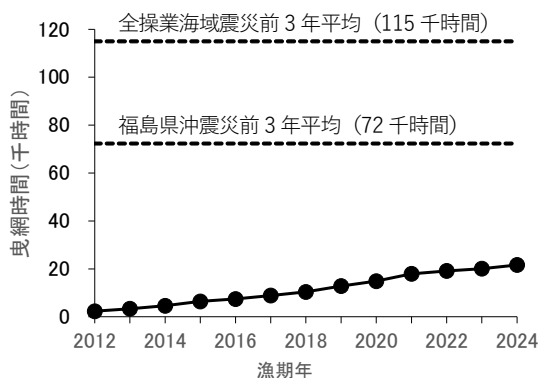


図 1 底びき網曳網時間の推移

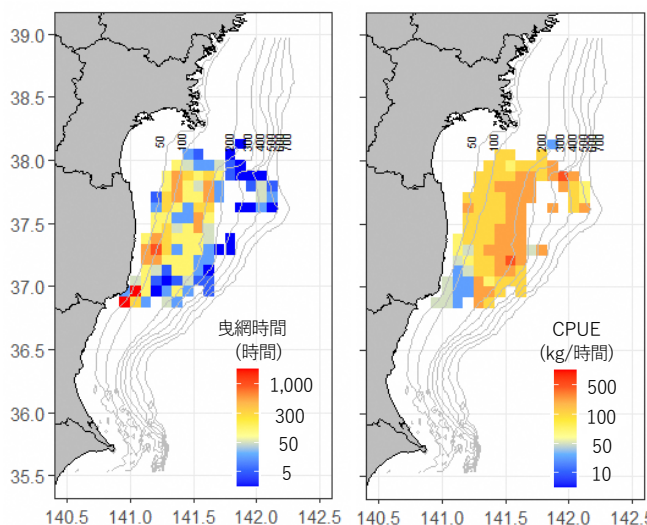


図 2 2024 年漁期の底びき網漁業曳網時間 (左図) と CPUE の分布 (右図)

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 7 年度
- (2) 研究課題名 カレイ類資源管理手法の開発

## 5 主な参考文献・資料

なし